

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 4 部門第 1 区分

【発行日】平成26年9月11日(2014.9.11)

【公開番号】特開2013-32619(P2013-32619A)

【公開日】平成25年2月14日(2013.2.14)

【年通号数】公開・登録公報2013-008

【出願番号】特願2011-167901(P2011-167901)

【国際特許分類】

E 0 5 B 13/08 (2006.01)

【F I】

E 0 5 B 13/08 D

【手続補正書】

【提出日】平成26年7月25日(2014.7.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 8】

摘み 2 が回転可能となると、サム軸 5 0 も回転可能となるので、そのまま時計方向に約 90°回すと扉錠は解錠される。なお、図 19, 図 20 は、前記の回転伝達機構 5 により摘み 2 が回転可能となった状態から、サム軸 5 0 を時計方向に約 15°回転した状態、すなわち解錠操作の初期の状態を示す。